

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 内視鏡下鼻内涙嚢鼻腔吻合術後における真菌の定着が細菌叢に及ぼす影響
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 菊田周
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 8（西暦 2026）年 1 月 31 日
＜対象となる方＞ 2014 年 4 月から 2024 年 9 月に内視鏡下鼻内涙嚢鼻腔吻合術を施行した方
＜研究の目的＞ 本研究では、涙の通り道の手術（内視鏡下鼻内涙嚢鼻腔吻合術）を受けた後に留置されるチューブに、カビ（真菌）がついた場合、周囲にいる細菌の種類やバランスがどのように変わるかを調べます。カビがつくことで、特定の細菌が減ったり、逆に残りやすくなったりする可能性があり、それが術後の感染に関係しているかもしれません。この研究によって、術後の感染リスクを減らすためのヒントが得られることが期待されます。
＜研究の方法＞ 内視鏡下鼻内涙嚢鼻腔吻合術を施行した症例のうち、術前後に細菌・真菌培養検体が提出された症例を対象に後ろ向き観察研究を行います。真菌の検出有無により、グラム染色分類および菌属別に細菌叢の構成比を比較検討します。加えて年齢、性別、罹病期間、自覚症状、糖尿病の有無などの背景因子との関連についても検討します。研究に用いたデータについては、解析後は速やかに破棄します。個人を特定できない形で論文に使用し、論文公開後の修正は行わないものとします。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 涙嚢内容物、留置チューブの培養検査
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） 耳鼻咽喉・頭頸部外科 鈴木佳奈 電話：03-3972-8111 内線：（医局）8753（PHS）8287

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方